

2009 年度 立命館大学 1 セメスター留学募集要項

1. プログラムの趣旨・概要

■ 1 セメスター留学とは

欧米の大学の 1 セメスター（1 学期）に相当する 10 週間から 14 週間を留学期間とし、立命館大学と海外の協定大学が本学の学生用に共同で開発した留学プログラムです。2009 年度は以下の 3 つのプログラムを実施します。

■ プログラムの概要

プログラム名	実施機関	留学期間 (予定)	プログラムの趣旨・目的
平和学	ワシントン大学 (米国・ワシントン州シアトル)	2009 年 8 月 31 日～ 12 月 17 日 【14 週間】	①英語の訓練を行いながら、アメリカの大学の授業への参加の仕方を体験的に学ぶことで、海外の大学で正規科目を受講する力を養う。 ②「平和学」における専門性の高い講義を受講し、自らの専門と関連づけて知識・理解を深める。
環境と人間			①英語の訓練を行いながら、アメリカの大学の授業への参加の仕方を体験的に学ぶことで、海外の大学で正規科目を受講する力を養う。 ②都市化にともなう環境問題への理解を深め、この分野において重要な事項について批判的分析力を高めると同時に、国際的な環境の中で自らの思考をより効果的に英語で伝える方法を学ぶ。
日豪関係	マコーリー大学 (オーストラリア・ニューサウスウェールズ州シドニー)	2009 年 8 月 6 日～ 10 月 11 日 【9 週間】	①英語の訓練を行いながら、オーストラリアの大学の授業への参加の仕方を体験的に学ぶことで、海外の大学で正規科目を受講する力を養う。また、異なる価値観に対する適応性を養い、国際的視野を養う。 ②日豪関係に関する幅広い専門講義を英語で履修し、自らの専門分野における体系的な知識・理解を深め、今後の海外留学を踏まえた学習の足がかりとする。

■ 滞在先

平和学	最初の約3週間をワシントン大学の寮に滞在し、その後ホームステイ。
環境と人間	2009 年 8 月 31 日～9 月 18 日……ワシントン大学学生寮(プログラム参加学生の 2 人 1 部屋使用が基本) 2009 年 9 月 18 日～12 月 16 日……ホームステイ(大学から 1 時間の通学時間が一般的、他の留学生と同居)
日豪関係	マコーリー大学の寮に滞在。(プログラム参加学生の 2 人 1 部屋使用が基本)

■ 募集人数

各プログラム 30 名、合計 90 名

(最少実施人数:ワシントン「平和学」「環境と人間」25 名、マコーリー「日豪関係」15 名)

※ 最少実施人数に満たない場合はプログラムの実施を見合わせる、もしくは、プログラム費用が予定より上昇することがありますのでご了承ください。

● 募集説明会・留学支援企画開催 (予約不要・参加自由)

	募集説明会	留学フェア(パネル展、留学相談など)
衣笠	4 月 8 日(水) 恒心館 730 号教室	留学相談会 @衣笠国際教育センター
	4 月 9 日(木) 以学館 33 号教室	4 月 13 日(月)～17 日(金) ①12:00-13:30、②15:30-17:00
BKC	4 月 9 日(木) コーニングハウスⅡ C803	留学フェア@アクロスウイング他
	4 月 13 日(月) コーニングハウスⅡ C803	4 月 10 日(金)～5 月下旬/相談ブース:4 月 13 日(月)～17 日(金) 13:00-16:10

● 留学相談ブース (衣笠: 明学館 1 階国際教育センター内、BKC: アクロスウイング 1 階)

留学アドバイザー(過年度留学経験者)が、留学に関する様々な疑問・質問に個別に対応してくれます。ぜひ、気軽に来てみてください。

(各月の開設時間やシフトについては前月末に http://www.ritsumei.jp/cger/cger02_05_j.html に掲載予定)

2. 学籍・単位

■ 学籍上の取扱い及び受講登録について

	学籍		注意
「平和学」 「環境と人間」	留学	プログラム期間は 2009 年度後期に該当し、学籍は「留学」扱いとなります	このプログラムに参加する場合、2009 年度後期科目の受講はできません(事前登録科目、予備登録科目、夏期集中講義を含む)。また 2009 年度通年受講科目に登録しても、単位認定はされません。
「日豪関係」	在学	プログラムの大半が夏期休暇期間中となりますので、学籍は「在学」のままとなります。帰国後、すぐに 2009 年度後期科目の履修をはじめます。	2009 年後期の授業の 1~2 回分は受講できない場合があります。その場合の特別措置は行いません。また受講登録修正期間が留学中となるため、注意してください。

*** 注意！いずれの場合も、事前に履修計画をしっかりと立てて参加してください。**

■ 単位について

留学先で修得した単位は、2009 年度後期開講科目として取扱い、本学の基準に基づいて本学担当教員が 5 段階の成績評価を行います(受講登録制限外)。各学部における科目名は別紙①を参照してください。

3. 参加費用および奨学金

■ 参加費用

	2009 年度参加費(予定)	参加費用に含まれるもの
平和学	約 140 万円	授業料/寮費/ホームステイ費/食費/航空運賃/旅行会社手数料/保険料等 ※パスポート取得費用、外食費、派遣先での個人行動費、日本国内の交通費等が別途必要です。 ※別途立命館大学の後期学費を納入する必要があります。
環境と人間	約 140 万円	
日豪関係	約 120 万円	授業料/寮費/食費/航空運賃/旅行会社手数料/保険料等 ※パスポート取得費用、外食費、派遣先での個人行動費、日本国内の交通費等が別途必要です。 ※別途立命館大学の後期学費を納入する必要があります。

※合格者は発表後、6 月 1 日までに参加費のうち 35 万円を申込金として納付し、参加費確定(7 月中旬頃)後、残金からあらかじめ後述の奨学金額を差し引いた金額を納付します。

※上記参加費はあくまで目安です。

※ 辞退期限以降にキャンセルした場合は、プログラム費用の一部または全額を負担していただきます。
※ワシントン「平和学」「環境と人間」両プログラムについては米国ビザ発行手続きのために、選考後に授業料・滞在費相当額の英文預金残高証明書 1 通を提出していただく必要があります。(参考：2008 年度必要証明額 110 万円、本人名義の口座でなくとも可。)

■ 奨学金

プログラムに参加する本学学生全員に、2009 年度年間学費の 2 分の 1 相当額を奨学金として給付します。参加学生は、本奨学金分を参加費からあらかじめ差し引いた金額を大学に納入することになります。

※年間学費とは、授業料、教育充実費、文理総合インスティテュート費、実験実習料の合計を指します。

※所属学部・インス・学年によって年間学費が異なるため、奨学金額が参加者個々で異なります。

4. 応募条件

- ① 本プログラムの趣旨・目的を理解し、現地での学習に意欲を持ち、真摯にプログラムの学習に取り組む本学の学部生。(ただし薬学部所属の学生を除く)
- ② TOEFL®-ITP/PBT480 点以上または TOEFL®-iBT54 以上を取得していること(期限内のものが望ましい)。
※ただし、講義の理解のためには TOEFL®-ITP/PBT500 点以上が望ましい。
(応募時に上記スコアが無くても応募可能。ただし同等の語学能力があるか面接等により判断する場合があります。)

5. 応募方法、参加者選考

■ 応募書類

※ペン(黒)書きし、以下①～⑦の順でA4サイズにそろえて左上をホチキスでとめ、提出すること。

①	2009年度立命館大学1セメスター留学応募書類チェックリスト
②	2009年度立命館大学1セメスター留学申込書
③	2009年度立命館大学1セメスター留学申込レポート (ワープロ作成可) 第1希望と第2希望以降で所定用紙が異なります。志望するすべてのプログラムについてレポートを作成してください。 (ワープロ作成による別紙利用の場合) 以下1)～3)の手順で作成してください。 1) 所定用紙に氏名、学生証番号等必要事項を記入し、本文の部分に「別紙参照」とのみ記入する。 2) 別紙はA4用紙を利用し、各ページに氏名、学生証番号、所属学部、志望プログラム名を明記する。 3) 上記「1)」、「2)」の順番でホチキスどめする。
④	累積GPA記載の2008年度後期成績通知表のコピー (A4サイズに縮小のこと、1回生不要)
⑤	TOEFL®スコア(TOEFL®-ITP 可)等、語学力を示す証明書のコピー(A4サイズ) ・申込書の「資格」欄に、TOEFL®スコア他語学検定について記入した人は必ず提出してください。 期限がある証明書の場合は、期限内のものが望ましい。(例:TOEFL®スコアは2年間です。) ・コピーの余白部分に、氏名、学生証番号、所属学部および第1志望プログラム名を明記してください。
⑥	2009年度立命館大学1セメスター留学履修計画書 「日豪関係」プログラムのみ応募であれば不要です。
⑦	パスポートのコピー(顔写真のあるページ) ・パスポート未取得でも応募可能ですが、選考結果発表日までに必ず提出してください。 ・指定の用紙に貼付し、必要事項を記入の上、提出してください。
⑧	2009年度立命館大学1セメスター留学応募書類受領書

■ 応募書類提出

受付期間: 2009年3月24日(火)～4月20日(月) 10:00～17:00

※ただし窓口閉鎖時間を除きます。

受付場所: 衣笠国際教育センター(明学館1F)

またはBKC国際教育センター(アクロスウイング1F)

※事前に十分余裕を持って書類を準備してください。17:00以降は受け付けません。

■ 選考と合格手続き等

選考は、申込レポートを重視して書類審査を行います。また面接を行う場合があります。

結果発表: 2009年5月26日(木) 16:00 衣笠国際センターおよびBKC国際センター掲示板

※合格者は発表日当日に行われるガイダンス(衣笠<18:00～、明学館94>、BKC<18:00～、コロンブスI C202)に出席し、受講手続書類を受け取ってください。

6. 参加決定後のスケジュール(予定)

すべてのガイダンスに必ず出席してください。

	衣笠		BKC		開始時刻
	日	教室	日	教室	
● 第1回ガイダンス(手続き書類配布)	5月26日	明94	5月26日	C202	18:00
● 辞退期限・申込金納入締切	6月1日	-	6月1日	-	-
● 第2回ガイダンス(ビザ申請について) ※該当コースのみ	6月8日	恒730	6月5日	C206	18:45
● 第3回ガイダンス (予防接種・留学中の健康管理について)	6月9日	以4	6月8日	C306	18:00
● 第4回ガイダンス(危機管理について)	6月15日	以3	6月15日	CC101	18:00
● 第5回ガイダンス(ビザ申請面接について) ※該当コースのみ	6月29日	恒730	6月26日	F201	18:00
● 結団式・交流パーティー	7月11日	未定	7月11日	未定	18:00
● 第6回ガイダンス (費用振込・現地での諸注意について)	7月17日	以4	7月17日	C206	18:00
● プログラム費用納入締切	7月27日	-	7月27日	-	-

7. 成績優秀者の交換留学

ワシントン大学のプログラムでは、成績優秀者のうち、さらなる留学を希望する学生に対し、さらに1セメスターの延長留学をするチャンスがあります。但し、一定の要件があります。

(1) ワシントン大学(「平和学」および「環境と人間」)

- ①留学期間： ワシントン大学の Winter quarter (冬学期・2010年1月～3月の10週間)
※「平和学」および「環境と人間」プログラム終了後(12月中旬)、引き続き1月から3月まで交換留学生として留学します。
- ②奨学金： 年間学費の4分の1相当額
- ③応募資格： 語学基準：TOEFL®-ITP/PBT540点以上または TOEFL®-iBT76以上
GPA 基準：2008年度後期までの累積 GPA3.0以上
回生：2回生以上
- ④選考： 「平和学」および「環境と人間」プログラム募集時に交換留学応募者を募り、選考を行ったうえで、立命館大学からワシントン大学に推薦します。
- ⑤単位認定： 延長留学期間中に取得した授業科目の単位は、所定の基準に基づいて、本学で取得すべき授業科目の単位として認定(N)を行います。科目によっては認定できないものもありますので、事前に所属学部の事務室に相談をしてください。

(2) マコーリー大学(「日豪関係」)

- ①留学期間： マコーリー大学 マコーリー英語センター(Centre for Macquarie English)に5週間
➤ 本学の夏期休暇もしくは春期休暇中の任意の5週間
- ②奨学金： 本学からの奨学金は支給されません。
- ③選考： 「日豪関係」プログラム期間中にマコーリー大学が学生の中から応募者を募ります。応募者の中からマコーリー大学が現地での成績およびレポート提出の結果に基づき、2名の留学生を選抜します。
- ④単位認定： 単位認定はありません。

8. 確認事項

1. 本学が指定する往復の航空便の利用および本学が指定する海外旅行保険への加入を義務付けます。また、本学の許可なしに留学の延長、短縮はできません。
2. 渡航に必要なビザ・パスポート等が所定の期間内に取得できない場合は、プログラム参加を辞退していただきます。
3. プログラム参加には定期健康診断を受診していることが必要です。健康上の不安がある場合は、必ず保健センター医師に相談してください。また、現地での健康管理は各自で行ってください。
4. プログラム参加中の適切な医療措置のため、現在かかっている心身の疾患についての申告等を選考後に求めます。病気の種類や症状によっては、本学もしくは受入先大学・機関の判断によりプログラム参加・継続を辞退していただくことがあります。
5. 大学の指示に従わない、必要な書類を提出しない、渡航前ガイダンスに参加しないといった行動をとる場合は、プログラムへの参加を辞退していただく可能性があります。
6. プログラム期間が前期試験の追試験と重なる場合は、追試験を受けることができません。また、補講についても同様です。
7. ホームステイでは、1家庭に複数名の学生がステイする場合があります。
8. 現地滞在中の様々なトラブルについては、基本的に自己の責任において対処することになります。現地においては十分な自覚を持ち、責任ある行動を心掛けてください。日本および現地の法令・規則を遵守し、立命館大学及び現地の教職員の指示に従ってください。
9. 学生の安全を最優先に考える観点から、学生の派遣にあたり、「世界情勢の緊迫」等への対応によって、プログラムの実施を中止する場合があります。天災・災害・ストライキ・伝染病・政治情勢の激変・テロ、その他不可抗力的な事態によって、プログラムの変更や中断を余儀なくされた場合であっても、立命館大学に対して一切の費用の払い戻し、損害賠償は要求しないこと。
10. 奨学金受給者が次の各号のいずれかに該当した場合は奨学金の返還を求めます。
 - (1) 学籍を失ったとき
 - (2) 休学したとき
 - (3) プログラムの参加を取りやめたとき
 - (4) 成績が著しく不振のとき
 - (5) 「学生賞罰規程」による懲戒処分を受けたとき
 - (6) プログラムの出願書類に虚偽の申告をしてプログラム参加者となったことが判明したとき
 - (7) その他奨学金の趣旨に著しく反する行為があったとき
11. その他プログラムで定める遵守事項に従うこと。

9. 保健センターからのお知らせ -留学前に麻疹（はしか）ワクチンを-

2007年度は大学生を中心に麻疹（はしか）が流行しました。

麻疹（はしか）は予防接種でしか予防することができません。2回接種しなければ免疫力が低下することがあるため、罹った事がある人以外は2回目の接種をしておく必要があります。

「日本は麻疹（はしか）の輸出国である」と国際的にも非難されています。

みなさんは、留学に出るまでに必ず2回目のワクチンを接種しておいてください。

また、地域によっては麻疹（はしか）以外にも予防接種をしておいたほうが良い場合があります。下記URLを参照の上、早目に計画的に接種するようにしてください。

<参照> <http://www.forth.go.jp/>

10. プログラムの詳細

■ 立命館大学・ワシントン大学「平和学」プログラム

ワシントン大学はアメリカを代表する研究大学であり、立命館大学との協定校でもある。創設は1861年、学生数は学部3万人、大学院1万人を超える規模であり、教員スタッフは研究員を含め4千人近くとなる。自然科学の分野でノーベル賞を1989年以来5名輩出している。

シアトルは日本からの移民も多く、日本からの学生も馴染みやすい。教育水準が高く、文化的にも自由で進歩的な気質があり、街も落ち着いて清潔かつ安全であると定評が高い。

(1) 三週間集中プログラム (9月1日～9月25日予定)

① 「歴史のなかのガンジー」：ジャクソン・スクールの教授による講義

ガンジーは長らくイギリスの植民地下にあったインドを第二次大戦後独立に導いた偉大な指導者であり、哲学者である。ガンジーの導いた運動の成功の秘訣はその非暴力・不服従の哲学と運動だといわれている。講義にはジャクソン・スクールの学部長でもあり、ガンジーについての権威であるヤン教授が自らあたる予定。

本講義とともに講義内容の英語のサポートも行われる。「平和学」を専門とする英語の教員が、本講義で展開される教授の講義を、学生が理解するのを助けるために、事前・事後の授業を行なう。事前の授業では講義で使用される語彙のリスト、事前に読んでおくべき論文の説明、語られるトピックの説明などを行なう。事後講義では講義内容について討議を行なう。また学生による口頭の発表など多様な内容が盛り込まれる。

② アメリカの大学で学ぶ上で求められる態度や授業で提出するレポートの書き方 (Academic Writing) についての講義と英語学習

(2) 秋学期：「平和学」 (9月30日～12月11日予定)

① 世界の紛争

現代世界では目を覆うような悲惨な事態が戦争や紛争によって起きている。何故、紛争や戦争が起こるのか、誰がそこから利益を得ているのか、そのためにエスニシティ、人種、宗教の違い等がどのように利用されるのか等をホロコースト、アパルトヘイト、カンボジア、ルワンダ等での大量虐殺等について検討しながらその本当の原因を探る。

② 「非暴力」の理論と実践

現代世界には、世界的にも地域においても解決を要する様々な問題が生起している。そして市民としてそれぞれの個人が共通の目標に基づき、現実を変えるための運動に参加することが必要となる場合がある。その際、ガンジーやキング牧師の「非暴力」の考え方は今なお有効な手段として採用されている。この講義の担当教授は、様々な運動に実際に参加してきた経験を持っており、その経験に基づき、現実を変えるための具体的で有効な方法論として「非暴力」の運動を分析しつつ、普通の市民に開かれたものとして語る。

③ 「アメリカの公民権運動とキング牧師」：ジャクソン・スクールの教授の講義

アメリカ黒人の権利のための闘い「公民権運動」とそれを指導したキング牧師の運動理念を講義する。「公民権運動」は200数十年にわたる奴隷制とそれ以後100年にわたる南部での人種隔離制度の存続という「民主主義国」アメリカの社会・文化的な病巣に大きくメスを入れ、今日のアメリカの土台を築いた偉大な運動であった。キング牧師はガンジーの運動の哲学について学生時代に深く学んでおり、キリスト教の理念に立ち返りアメリカの文化的・社会的土壌に根ざした運動を展開し、黒人だけでなく広く白人の良心に訴え支持を得て成功した。

①～③の中で「英語サポートも行われる」

④ 選択英語 英語関係の選択科目を受講する。(次の科目のなかから選択)

American Film	Topics in Conversation
English through Drama	Advanced Conversation
Advanced English Grammar	Vocabulary and Idioms
Academic Writing Skills	TOEFL Preparation
Academic Reading Skills	Business English
Academic Listening Skills	News
Community Service	Community Service

ワシントン大学の国際関係学部にあたる“The Jackson School of International Studies”でのゲストスピーカーの講演などにも参加することができます（希望者）。(<http://jisis.washington.edu/>)

■ 立命館大学・ワシントン大学「環境と人間」プログラム

ワシントン大学については「平和学」プログラムの詳細の冒頭を参照のこと。

(1) 三週間集中プログラム (9月1日～9月25日予定)

① 太平洋岸アメリカ北西地域の環境 (フィールド調査)

フィールド調査によって、シアトル周辺の自然環境、動植物の生息環境に触れ、「レストレーション・エコロジー」(人間の介入によって破壊された環境の復活をめざす学問領域)や環境科学にかかわる人々、概念、問題について学び、環境学についての総合的な知見を得る。

② 環境研究方法論

フィールドサンプリング、インタビュー、アンケート調査、文書分析など、環境調査にかかわる方法についてさまざまな角度から学び、プロジェクト研究の基礎を提供する。

①～②の授業中で英語のサポートが行われる。

③ アカデミック英語

アメリカの大学における学修上の心得や態度およびアカデミックライティングについて学ぶ

(2) 秋学期(9月30日～12月11日予定)

① 「環境と人間」: 環境学関連教授による講義

都市化とサステイナビリティ (持続可能性) に関わる環境問題を学ぶ。特に環境問題に取り組む上での環境科学の重要性を明らかにしつつ、それを人間社会 (たとえば地方自治体) がどのように受け止め、政策決定に利用すればよいのかを論じる。具体的には、水質や水の量、交通、土地利用計画、公園、ツーリズムと環境、港や海岸地域の保全、住宅、都市設計、多様な生物の保護等のテーマを扱う。

② 「持続可能なビジネス、ツーリズムと企業の社会的責任」: 環境学関連教授による講義

この講義では、学際的アプローチを用いつつ、企業活動を経済的、環境学的、社会的な観点から検討し持続可能なビジネスやツーリズム、企業の社会的責任について論じる。様々な哲学的、文化的レベル、および科学に基づく情報についての相対立する考え方に学生が馴染むにつれて、持続可能性についての「システム思考」を導入する。

③ 「環境問題の課題研究演習」: 環境学関連教授による指導

各自、自分のプロジェクトを教官の指導の下に決め、10週間の間に仕上げる。

①～③の授業の中で英語のサポートが行われる。講義の最初にあらかじめ講義で使用される語彙のリスト、事前に読んでおくべき論文の説明、語られるトピックの説明などがあり、講義の後半では講義内容について討議を行なう。また学生による口頭の発表など多様な内容も盛り込まれる。

④ 選択英語 英語関係の選択科目を受講する。(次の科目の中から選択)

American Film	Topics in Conversation
English through Drama	Advanced Conversation
Advanced English Grammar	Vocabulary and Idioms
Academic Writing Skills	TOEFL Preparation
Academic Reading Skills	Business English
Academic Listening Skills	News
Community Service	Community Service

■ 立命館大学・マコーリー大学「日豪関係」プログラム

マコーリー大学は大学院課程が充実した大学として名高く、6つの国立研究センターと20以上の大学附属センターを持ち、幅広い分野で先進的な研究を行っている州立大学。立命館大学とは既に学生交換を行っている。創設は1967年、学生数は学部レベル17,607人、大学院レベル13,167人であり、その内の30%強(9,794名)

「日本とオーストラリアの関係」をテーマとしたゲスト講義と、講義への理解を助ける英語科目、リサーチ・スキル科目が組み込まれています。また教室での授業に加えて戦中の日本人兵士収容施設などを見学し、オーストラリアを知るための多彩なフィールド・トリップも予定されています。

(1) ゲスト講義

毎週違うテーマのゲスト講義が行われます。この講義の内容は日本とオーストラリアの第二次世界大戦から戦後にかけての歴史的関係を踏まえ、日本とオーストラリアの経済関係、現在におけるより広い意味での関係、また中国のめざましい変化が今後どのような影響を日本や他の世界に与えるのかといった広範な問題に及びます。またこの講義の内容は週の残りの時間でも引き続き討議され理解を深めることになります。

参考：2008年度のテーマ

① 異文化コミュニケーション

(Intercultural Communication)

② 異文化間国際関係

(Cross Cultural Relationships)

③ オーストラリアと日本の二国間関係

(Australia/ Japan bilateral relationship – a personal perspective)

④ オーストラリアと日本の経済関係—歴史と現状

(The Australia/Japan Economic Relationship – History and current status)

⑤ 日本とオーストラリアの経済における観光の重要性

観光部門におけるビジネス関係

(The Importance of Tourism to the Economies of Japan and Australia Business Relationships in the Tourism Sector)

⑥ オーストラリアと日本の文化関係に影響を与えた人々と問題

(The People and Issues which Impact on the cultural relationship between Australia and Japan)

⑦ 芸術—オーストラリアへの日本の影響/日本へのオーストラリアの影響

(The Arts – the influence of Japan on Australia/Australia on Japan)

(2) 英語科目クラス

各学生の英語力を向上させ、オーストラリアの大学で課される教科書を読みこなす力を養います。

(3) リサーチスキルセッション

2週間に1回行われるパソコンを使ったリサーチスキルセッションやワークショップ

- Independent Learning Centre Tour
- Main Library Tour
- Catalogue Workshop (ILC Computer Room)
- Database Workshop (ILC)
- Workshop for Computer Assisted Language Learning Software (CALL)
- PowerPoint Workshop
- Computer Room Sessions where required

(4) フィールドトリップ

キャンベラ、ブルーマウンテン、シドニー湾、第二次世界大戦時の日本人収容所跡などを見学します。

以上

科目名	法学部		産業社会学部		国際関係学部		文学部		政策科学部		映像学部	
	科目	単位数	科目	単位数	科目	単位数	科目	単位数	科目	単位数	科目	単位数
「歴史の中のガンジー」	「外国留学科目」(教養)もしくは、「外国留学科目」(関連専門、学際科目)	1	外国留学科目(総合)：学部共通専門科目	1	外国留学科目(固有専門)	1	外国留学科目(人文科学総合講座)	1	政策科学特殊講義	1	外国留学科目(教養科目)	1
「平和学」	「外国留学科目」(教養)もしくは、「外国留学科目」(関連専門、学際科目)	5	外国留学科目(総合)：学部共通専門科目	5	外国留学科目(固有専門)	5	外国留学科目(人文科学総合講座)	5	政策科学特殊講義	5	外国留学科目(教養科目)	5
「リカの非暴力社会運動」	「外国留学科目」(教養)もしくは、「外国留学科目」(関連専門、学際科目)	3	外国留学科目(総合)：学部共通専門科目	3	外国留学科目(固有専門)	3	外国留学科目(人文科学総合講座)	3	政策科学特殊講義	3	外国留学科目(教養科目)	3
「リカの大学における学習の心得とリカ・シカイングリッシュ」	「英語認定」(外国語)もしくは、「外国留学科目」(関連専門、学際科目)	1	英語で手修得科目があれば当該科目で認定 充足している場合は外国留学科目(総合)：教養・総合学際科目5群	1	専門外国語科目(認定)	1	英語(外国語科目)、外国留学科目(教養科目)、英語アドヴァンスト・プログラム(人文科学総合講座)	1	外国留学科目(自由選択)	1	外国留学科目(自由選択)	1
英語選択科目	「英語認定」(外国語)もしくは、「外国留学科目」(関連専門、学際科目)	1	英語で手修得科目があれば当該科目で認定 充足している場合は外国留学科目(総合)：教養・総合学際科目5群	1	専門外国語科目(認定)	1	英語(外国語科目)、外国留学科目(教養科目)、英語アドヴァンスト・プログラム(人文科学総合講座)	1	外国留学科目(自由選択)	1	外国留学科目(自由選択)	1

科目名	経済学部		経営学部		情報理工学部		理工学部		生命科学部	
	科目	単位数	科目	単位数	科目	単位数	科目	単位数	科目	単位数
「歴史の中のガンジー」	外国留学科目(教養)	1	外国留学科目(教養)	1	特殊講義(基礎)1・2	1	外国留学科目(基礎)2004年度以降入学生：外国留学科目(基礎)または特殊講義(自由選択)1	1	「外国留学科目」(教養科目)	1
「平和学」	外国留学科目(教養)	5	外国留学科目(教養)	5	特殊講義(基礎)1・2	4	外国留学科目(基礎)2004年度以降入学生：外国留学科目(基礎)または特殊講義(自由選択)1	5	「外国留学科目」(教養科目)	5
「リカの非暴力社会運動」	外国留学科目(教養)	3	外国留学科目(教養)	3	特殊講義(基礎)1・2	2	外国留学科目(基礎)2004年度以降入学生：外国留学科目(基礎)または特殊講義(自由選択)1	3	「外国留学科目」(教養科目)	3
「リカの大学における学習の心得とリカ・シカイングリッシュ」	後期開講の英語科目または外国留学科目(教養)	1	①未修得分の英語科目 ②国際経営学 外国留学科目(国際経営) 外国留学科目(総合)：外国留学科目	1	指定なし	-	外国留学科目(基礎)2004年度以降入学生：外国留学科目(基礎)または特殊講義(自由選択)1	1	「外国留学科目」(教養科目)	1
英語選択科目	後期開講の英語科目または外国留学科目(教養)	1	①未修得分の英語科目 ②国際経営学 外国留学科目(国際経営) 外国留学科目(総合)：外国留学科目	1	指定なし	-	外国留学科目(基礎)2004年度以降入学生：外国留学科目(基礎)または特殊講義(自由選択)1	1	「外国留学科目」(教養科目)	1

科目名	法学部		産業社会学部		国際関係学部		文学部		政策科学部		映像学部	
	科目	単位数	科目	単位数	科目	単位数	科目	単位数	科目	単位数	科目	単位数
「太平洋岸アメリカ北西地域の環境学」	「外国留学科目」(教養)もしくは、「外国留学特修科目」(関連専門、学際科目)	1	外国留学特修科目(総合) :学部共通専門科目	1	外国留学科目 (固有専門)	1	外国留学特修科目(人文科学総合講座)	1	政策科学特殊講義	1	外国留学特修科目 (自由選択)	1
「環境研究方法論」	「外国留学科目」(教養)もしくは、「外国留学特修科目」(関連専門、学際科目)	1	外国留学特修科目(総合) :学部共通専門科目	1	外国留学科目 (固有専門)	1	外国留学特修科目(人文科学総合講座)	1	政策科学特殊講義	1	外国留学特修科目 (自由選択)	1
「環境と人間」	「外国留学科目」(教養)もしくは、「外国留学特修科目」(関連専門、学際科目)	5	外国留学特修科目(総合) :学部共通専門科目	5	外国留学科目 (固有専門)	5	外国留学特修科目(人文科学総合講座)	5	政策科学特殊講義	5	外国留学特修科目 (自由選択)	5
「持続可能なビジネス、ソーシャル・エンタープライズと企業の社会的責任」	「外国留学科目」(教養)もしくは、「外国留学特修科目」(関連専門、学際科目)	3	外国留学特修科目(総合) :学部共通専門科目	3	外国留学科目 (固有専門)	3	外国留学特修科目(人文科学総合講座)	3	政策科学特殊講義	3	外国留学特修科目 (自由選択)	3
「環境問題の課題研究演習」	「外国留学科目」(教養)もしくは、「外国留学特修科目」(関連専門、学際科目)	2	外国留学特修科目(総合) :学部共通専門科目	2	外国留学科目 (固有専門)	2	外国留学特修科目(人文科学総合講座)	2	政策科学特殊講義	2	外国留学特修科目 (自由選択)	2
「アメリカの大学における学習の心得とアカデミック・リテラシー」	「英語認定」(外国語)もしくは、「外国留学特修科目」(関連専門、学際科目)	1	英語で未修得科目が認められ、当該科目で認定 充足している場合は 外国留学科目(総合) :教養・総合学術科目B群	1	専門外国語科目(認定)	1	英語(外国語科目)、外国留学科目(教養科目)、英語アダプティブ・プログラム(人文科学総合講座)	1	外国留学科目(自由選択)	1	外国留学特修科目 (自由選択)	1
英語選択科目	「英語認定」(外国語)もしくは、「外国留学特修科目」(関連専門、学際科目)	1	英語で未修得科目が認められ、当該科目で認定 充足している場合は 外国留学科目(総合) :教養・総合学術科目B群	1	専門外国語科目(認定)	1	英語(外国語科目)、外国留学科目(教養科目)、英語アダプティブ・プログラム(人文科学総合講座)	1	外国留学科目(自由選択)	1	外国留学特修科目 (自由選択)	1

科目名	経済学部		経営学部		情報理工学部		理工学部		生命科学部	
	科目	単位数	科目	単位数	科目	単位数	科目	単位数	科目	単位数
「太平洋岸アメリカ北西地域の環境学」	外国留学科目(教養)	1	外国留学特修科目(専門・他コース)	1	特殊講義(基礎) 1・2	1	2003年度以前入学生：外国留学科目(基礎) 2004年度以降入学生：外国留学科目(基礎) または特殊講義(自由選択) I 〔文理インス〕基礎科目分野/特殊講義 I	1	「外国留学特修科目」 (教養科目)	1
「環境研究方法論」	外国留学科目(教養)	1	外国留学特修科目(専門・他コース)	1	特殊講義(基礎) 1・2	1	2003年度以前入学生：外国留学科目(基礎) 2004年度以降入学生：外国留学科目(基礎) または特殊講義(自由選択) I 〔文理インス〕基礎科目分野/特殊講義 I	1	「外国留学特修科目」 (教養科目)	1
「環境と人間」	外国留学科目(教養)	5	外国留学特修科目(専門・他コース)	5	特殊講義(基礎) 1・2	4	2003年度以前入学生：外国留学科目(基礎) 2004年度以降入学生：外国留学科目(基礎) または特殊講義(自由選択) I 〔文理インス〕基礎科目分野/特殊講義 I	5	「外国留学特修科目」 (教養科目)	5
「持続可能なビジネス、ソリューションと企業の社会的責任」	外国留学科目(教養)	3	外国留学科目(教養科目)	3	特殊講義(基礎) 1・2	2	2003年度以前入学生：外国留学科目(基礎) 2004年度以降入学生：外国留学科目(基礎) または特殊講義(自由選択) I 〔文理インス〕基礎科目分野/特殊講義 I	3	「外国留学特修科目」 (教養科目)	3
「環境問題の課題研究演習」	外国留学科目(教養)	2	外国留学科目(教養科目)	2	特殊講義(基礎) 1・2	2	2003年度以前入学生：外国留学科目(基礎) 2004年度以降入学生：外国留学科目(基礎) または特殊講義(自由選択) I 〔文理インス〕基礎科目分野/特殊講義 I	2	「外国留学特修科目」 (教養科目)	2
「アメリカの大学における学習の心得とリサーチ・シミュレーション」	後期開講の英語科目または外国留学科目(教養)	1	外国留学科目(教養科目)	1	認定なし	-	2003年度以前入学生：外国留学科目(基礎) 2004年度以降入学生：外国留学科目(基礎) または特殊講義(自由選択) I 〔文理インス〕基礎科目分野/特殊講義 I	1	「外国留学特修科目」 (教養科目)	1
英語選択科目	後期開講の英語科目または外国留学科目(教養)	1	外国留学科目(教養科目)	1	認定なし	-	2003年度以前入学生：外国留学科目(基礎) 2004年度以降入学生：外国留学科目(基礎) または特殊講義(自由選択) I 〔文理インス〕基礎科目分野/特殊講義 I	1	「外国留学特修科目」 (教養科目)	1

科目名	法学部		産業社会学部		国際関係学部		文学部		政策科学部		映像学部	
	科目	単位数	科目	単位数	科目	単位数	科目	単位数	科目	単位数	科目	単位数
ゲスト講義「日豪関係」	「外国留学科目」(教養)もしくは、「外国留学特修科目」(関連専門、学際科目)	1	外国留学特修科目(総合):学部共通専門科目	1	外国留学科目(固有専門)	1	外国留学特修科目(人文科学総合講座)	1	政策科学特殊講義	1	外国留学特修科目(自由選択)	1
フィールドトリップ	「外国留学科目」(教養)もしくは、「外国留学特修科目」(関連専門、学際科目)	1	外国留学特修科目(総合):学部共通専門科目	1	外国留学科目(固有専門)	1	外国留学特修科目(人文科学総合講座)	1	政策科学特殊講義	1	外国留学特修科目(自由選択)	1
英語科目	「外国語科目」(英語)、「外国留学科目」(教養、関連専門、学際科目)	5	英語で未修得科目があれば当該科目で認定 充足している場合は外国留学科目(総合):教養・総合学術科目B群	5	英語で未修得科目がある場合は当該科目で、充足している場合は「専門外国語」(自由選択)で。(ただし、上限4単位)	5	英語(外国語科目)、外国語留学科目(教養科目)、英語アドヴァンスト・プログラム(人文科学総合講座)	5	外国留学科目(自由選択)	5	外国留学科目(教養科目「その他」)	5
リサーチ・スキル	「外国語科目」(英語)、「外国留学科目」(教養、関連専門、学際科目)	1	英語で未修得科目があれば当該科目で認定 充足している場合は外国留学科目(総合):教養・総合学術科目B群	1	専門外国語科目(認定)	1	英語(外国語科目)、外国語留学科目(教養科目)、英語アドヴァンスト・プログラム(人文科学総合講座)	1	外国留学科目(自由選択)	1	外国留学科目(教養科目「その他」)	1

科目名	経済学部		経営学部		情報理工学部		理工学部		生命科学部	
	科目	単位数	科目	単位数	科目	単位数	科目	単位数	科目	単位数
ゲスト講義「日豪関係」	外国留学科目（教養）	1	外国留学科目（教養科目）	1	特殊講義（基礎）Ⅰ・Ⅱ	1	2003年度以前入学生：外国留学科目（基礎） 2004年度以降入学生：外国留学科目（基礎）または特殊講義（自由選択）Ⅰ 〔文理インス〕基礎科目分野／特殊講義Ⅰ	1	「外国留学特修科目」（教養科目）	1
フィードバック	外国留学科目（教養）	1	外国留学科目（教養科目）	1	特殊講義（基礎）Ⅰ・Ⅱ	1	2003年度以前入学生：外国留学科目（基礎） 2004年度以降入学生：外国留学科目（基礎）または特殊講義（自由選択）Ⅰ 〔文理インス〕基礎科目分野／特殊講義Ⅰ	1	「外国留学特修科目」（教養科目）	1
英語科目	後期開講の英語科目または外国留学科目（教養）	5	①未修得分の英語科目 ②<国際経営学科>外国留学特修科目（国際経営） <経営学科>外国留学特修科目	5	認定なし	-	2003年度以前入学生：外国留学科目（基礎） 2004年度以降入学生：外国留学科目（基礎）または特殊講義（自由選択）Ⅰ 〔文理インス〕基礎科目分野／特殊講義Ⅰ	5	「外国留学特修科目」（教養科目）	5
リサーチ・スキル	後期開講の英語科目または外国留学科目（教養）	1	①未修得分の英語科目 ②<国際経営学科>外国留学特修科目（国際経営） <経営学科>外国留学特修科目	1	特殊講義（基礎）Ⅰ・Ⅱ	1	2003年度以前入学生：外国留学科目（基礎） 2004年度以降入学生：外国留学科目（基礎）または特殊講義（自由選択）Ⅰ 〔文理インス〕基礎科目分野／特殊講義Ⅰ	1	「外国留学特修科目」（教養科目）	1

①2009 年度 立命館大学 1 セメスター留学応募書類チェックリスト

* 本票は、他の応募書類(すべてA4サイズ)とともに提出してください。

学部	学科	専攻(回生)
(文理総合・国際)インスティテュート ()インスティテュート・プログラム		
フリガナ		学生証 番号
氏名		
応募プログラム	※ 希望するプログラムの○内に○を記入。複数のプログラムを併願する場合、希望順位を記入。	
()立命館・ワシントン大学「平和学」プログラム		()立命館・ワシントン大学「環境と人間」プログラム
()立命館・マコーリー大学「日豪関係」プログラム		

2009 年度 立命館大学 1 セメスター留学に応募しますので、以下の書類を提出します。

《提出書類一覧》

* 提出する書類を点検のうえ「本人確認欄」にチェックをつけて提出し、衣笠国際教育センターもしくはBKC国際教育センターで確認をうけてください。不備がある場合は受領されません。

	提出書類	本人 確認欄	事務局 確認欄	備考
①	2009 年度 立命館大学 1 セメスター留学応募書類チェックリスト	V	V	全員提出(本票)
②	2009 年度 立命館大学 1 セメスター留学申込書			全員提出
③	2009 年度 立命館大学 1 セメスター留学申込レポート 志望するすべてのプログラムについてレポートを作成のこと	第1志望		全員提出
		第2志望		
		第3志望		
④	累積 GPA 記載の成績通知表のコピー(A4に縮小のこと) (2008 年度後期のもの、1回生は不要)			全員提出
⑤	TOEFL®スコア(TOEFL®-ITP 可)等、語学力を示す証明書のコピー(A4 サイズ) 申込書の「資格」欄に、TOEFL®スコア他語学検定について記入した人は必ず提出してください。期限がある証明書の場合は、期限内のものが望ましい。(例:TOEFL®スコアは2年間です。) コピーの余白部分に、氏名、学生証番号、所属学部およびプログラム・コース名を明記してください。			スコア保持者のみ提出 <input type="checkbox"/> TOEFL®未受験
⑥	2009 年度 立命館大学1セメスター留学履修計画書			全員提出(日豪関係不要)
⑦	パスポートのコピー(顔写真のあるページ) 指定の用紙に添付し、必要事項を記入の上、提出してください			全員提出 未取得・更新手続中 (月 日までに提出予定)
⑧	2009 年度 立命館大学1セメスター留学応募書類受領書			全員提出

注意

提出書類はすべてペン(黒)書きし、①～⑧の順で A4 サイズにそろえて左上をホチキスでとめ、提出すること。

②2009年度 立命館大学 1セメスター留学プログラム申込書

希望順位	※希望するプログラムの〇内に○を記入。複数のプログラムを併願する場合、希望順位を記入。なお、応募レポートはプログラムごとの作成が必要です。						(事務局使用欄) Access No.	
()	ワシントン大学「平和学」プログラム						写真貼付欄 裏面に学部・氏名記入 (ﾀｲﾌﾟ4センチ x ﾖｺ3センチ)	
()	ワシントン大学「環境と人間」プログラム							
()	マコーリー大学「日豪関係」プログラム							
以下の各項目について、必要事項を記入し、該当する口に「し」を入れること。								
学部		学科				※該当学生のみ (文理総合・国際)インスティテュート		
学生証番号		回生				※該当学生のみ ()インスティテュート・プログラム		
フリガナ			男・女	生年月日	19 年 月 日生 (満 歳)	出生地		
氏名								
現住所	フリガナ 〒 -							
E-Mail	Rainbow (本学より付与されたE-Mailアドレス) ※合格者のRainbowメールアドレスは連絡用メールアドレスリストに登録します。		@ed.ritsumei.ac.jp			電話番号	自宅:	() -
	携帯電話:		@				携帯電話:	() -
帰省先	フリガナ 〒 - 電話番号: () -							
ワシントン大学「平和学」もしくは「環境と人間」の延長留学を希望しますか <input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ								
海外渡航または留学プログラム参加歴 ・立命館の留学プログラムに参加し単位認定を受けたことがある。(<input type="checkbox"/> あり・ <input type="checkbox"/> なし) 「あり」の場合プログラム名・コース名、参加年度を記述 ・その他の海外渡航または留学プログラム参加 (<input type="checkbox"/> あり・ <input type="checkbox"/> なし) 「あり」の場合、具体的に記述				資格(語学検定等を含む) 証明書等の添付ができない場合は、語学検定のスコアについては記入しないこと。 TOEFL® 点 (種類) TOEIC® 点 (種類) その他 サークル活動 その他(書道・日本舞踊・生け花等の文化活動など)				
2009年度の学内定期健康診断を受診しましたか? <input type="checkbox"/> 受診した ・ <input type="checkbox"/> 受診していない				他の留学プログラムとの併願 (<input type="checkbox"/> あり・ <input type="checkbox"/> なし) 「あり」の場合、プログラム名・コース名を具体的に記述				
パスポート	<input type="checkbox"/> あり 有効期限 (年 月 日)		<input type="checkbox"/> なし 取得予定 (年 月 日)			※なしの場合、国籍を記入 → ()		
以下3項目について確認し、同意する場合は口をチェックを入れること。 プログラムの応募、参加には、以下3項目への同意が必要です。 <input type="checkbox"/> 私は、募集要項を熟読し、プログラムの趣旨・目的を理解しています。 <input type="checkbox"/> プログラムへの私の応募・参加について保証人が同意しています。 <input type="checkbox"/> 私は参加辞退の場合、所定期間内に所定手続きに従い申し出ます。								
上記のプログラム・コースへの参加を希望するにあたり、応募書類一式における記載に一切の虚偽がないことを誓約します。								
学生証番号 _____				署名 _____				

<書類はペン(黒)書きのこと>

※書類に記入してもらう個人情報は、派遣者の選考・渡航に関する手続や本学からの連絡、および今後のプログラム内容の改善を図るため、個人が特定されない学内統計資料の作成目的のみに使用されます。また、派遣先大学および旅行代理店・保険会社に対して、渡航手続・保険手続を進める上で必要な情報にのみ提供されます。

③ (第1希望用)2009年度立命館大学 1セメスター留学申込レポート

2/2

2. 留学までに学習しておきたい課題について述べてください。

3. このプログラムへの参加を通じて得られるであろう成果を、今後あなたの生活にどのように活かすつもりなのか、英語で述べてください。

書類に記入してもらった個人情報は、派遣者の選考・渡航に関する手続や本学からの連絡、および今後のプログラム内容の改善を図るため、個人が特定されない学内統計資料の作成目的のみに使用されます。また、派遣先大学および旅行代理店・保険会社に対して、渡航手続・保険手続を進める上で必要な情報についてのみ提供されます。

氏名	
学生証番号	

<書類はペン(黒)書きのこと>

2009 年度 1 セメスター留学

⑥履修計画書

学生証番号		氏名	
	学 部	学 科	専攻・コース

プログラムに参加した場合に、履修できない立命館大学の必修科目や演習等を、今後どのように取得する予定か等、履修計画を中心に具体的に記述してください。また、事前登録科目の受講許可が下りている 2009 年度後期科目がある場合はその科目名についても記述してください。記入後、各所属学部事務室にて確認印を得てください。

マコーリー大学 日豪関係プログラムのみに応募する場合は必要ありません。

①履修計画

②事前登録科目名（許可が下りている場合）

--

③現在の修得単位数： _____ 単位（内要卒・要修了単位数 _____ 単位）

④今年度登録単位数： _____ 単位

以下は卒業該当回生のみ記入してください。

⑤卒業・修了見込み： 有 / 無

⑥卒業・修了予定時期： _____ 年 _____ 月

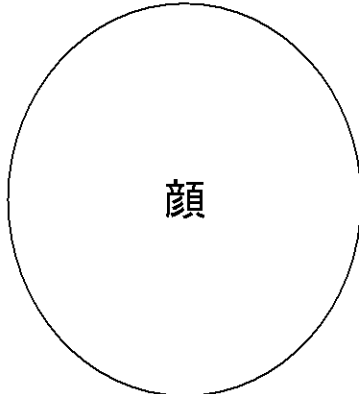
上記の事項について、学部事務室にて確認を行いました。

学部事務室確認印

※書類に記入してもらう個人情報は、派遣者の選考・渡航に関する手続や本学からの連絡、および今後のプログラム内容の改善を図るため、個人が特定されない学内統計資料の作成目的のみに使用されます。また、派遣先大学および旅行代理店・保険会社に対して、渡航手続・保険手続を進める上で必要な情報にのみ提供されます。

⑦パスポートのコピー<指定用紙>

ここにパスポートのコピー(顔写真のページ<見開き>)を
貼り付けてください。



顔

第1志望プログラム名 コース名	
--------------------	--

学部		学科		
学生証 番号		回生		
フリガナ				男・女
氏名				

<書類はペン(黒)書きのこと>

⑧2009年度立命館大学1 Semester 留学応募書類受領票(事務局控え)

学部 _____ 様 (学生証番号 _____)

第一志望プログラム・コース名: _____ (_____ コース)

2009年度立命館大学1 Semester 留学の応募を受け付けました。本票は選考終了まで紛失することのないよう大切に保管してください。

※選考結果発表日:2009年5月26日(火)16:00 衣笠国際教育センター・BKC国際教育センター掲示板
 ※参加内定者は、発表後に行われる以下のガイダンスに出席し、受講手続き書類を受け取ってください。

	日	時間	場所
衣笠	5月26日	18:00～	明学館94
BKC	5月26日	18:00～	コーニングハウスI C202

受領日 年 月 日
 衣笠国際教育センター・BKC国際教育センター
 受付印

担当:

合格発表後、申込金納入締切日(6月1日)までに申込金35万円を振り込んでください。
 ワシントン「平和学」「環境と人間」両プログラムについては、米国ビザ発行手続きのために
 選考後に授業料・滞在費相当額の英文預金残高証明書1通を提出していただく必要があります。
 (参考:2008年度必要証明額110万円、本人名義の口座でなくとも可)
 <書類はペン(黒)書きのこと>

----- 切り取り線 -----

⑧2009年度立命館大学1 Semester 留学応募書類受領票(本人控え)

学部 _____ 様 (学生証番号 _____)

第一志望プログラム・コース名: _____ (_____ コース)

2009年度立命館大学1 Semester 留学の応募を受け付けました。本票は選考終了まで紛失することのないよう大切に保管してください。

※選考結果発表日:2009年5月26日(火)16:00 衣笠国際教育センター・BKC国際教育センター掲示板
 ※参加内定者は、発表後に行われる以下のガイダンスに出席し、受講手続き書類を受け取ってください。

	日	時間	場所
衣笠	5月26日	18:00～	明学館94
BKC	5月26日	18:00～	コーニングハウスI C202

受領日 年 月 日
 衣笠国際教育センター・BKC国際教育センター
 受付印

担当:

合格発表後、申込金納入締切日(6月1日)までに申込金35万円を振り込んでください。
 ワシントン「平和学」「環境と人間」両プログラムについては、米国ビザ発行手続きのために
 選考後に授業料・滞在費相当額の英文預金残高証明書1通を提出していただく必要があります。
 (参考:2008年度必要証明額110万円、本人名義の口座でなくとも可)
 <書類はペン(黒)書きのこと>